令和８年度　医学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
歯学部（学校推薦型選抜入学試験・編入学試験・卒業生推薦入学試験）
薬学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
保健医療学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
基礎学力試験問題　英語　出題意図および解答・解答例

1　発音

＜出題意図＞
英語の音声と綴字の対応関係について、規則の理解と個別語の知識の両面を測る。単なる暗記の再生ではなく、音韻規則を適用できるかどうかを見る設計とした。

- 設問１は，語尾 -s の発音が直前音の有声性によって決まるという同化の規則を問う。個々の語を覚えていなくとも、規則を知っていれば解ける。
- 設問２は th の有声・無声の対立、設問３は綴字 ow / ou と二重母音の対応．いずれも綴りが同一でも発音が異なる点を突いている。
- 設問 4・5 は形式を変え，同音異義語（homophone）の識別を問う。4 は緊張母音と弛緩母音の対立（pull / pool）、5 は母音の質の相違（battle / bottle）で、日本語話者が混同しやすい対立を選んでいる。

＜解答＞
1. B
2. C
3. B
4. C
5. A

2　語彙・熟語

＜出題意図＞
句動詞と熟語の知識を，文脈の中で運用できるかを測る。

- 設問 1〜3 は、3 つの異なる意味の句動詞が共通する 1 語の副詞を特定する形式。個々の熟語を丸暗記しているだけでは対応しにくく、複数の用例から共通項を抽出する力が要る。たとえば設問 1 では turn out（消す）・run out of（切らす）・carry out（実行する）と意味が三者三様であり、out という形式の共通性に気づけるかが分岐点となる。
- 設問 4・5 は熟語の言い換え．易しい語による定義に置き換えられるかを見るもので、語彙を意味のネットワークとして把握しているかを測る。

＜解答＞
1. B
2. D
3. A
4. B
5. A

3　英文法・語法

＜出題意図＞
文法項目を網羅的に確認するとともに、文全体の構造を見抜く力を測る。単文レベルの知識に加え、主語・述語の対応や修飾関係を正しく捉えられるかを問う項目を含めた。

- 設問 1 は、長い主部の中の後置修飾を見抜けるか。定形動詞を選ぶと述語が二重になり破綻する点に気づけるかが鍵で、本大問中もっとも構造把握力を要する。
- 設問 2 は of which による関係詞（＝whose red roof you can see）、設問 3 は the same ... as の相関表現。
- 設問 4 は、文末に置かれた副詞の though と接続詞 although との品詞・語順の違いを識別できるかを問う。
- 設問 5〜7、9 は準動詞（完了不定詞・仮定法過去完了・過去分詞の限定用法・分詞構文の完了形）を，時間関係の理解とともに問う。
- 設問 8 は use A to do B の A が関係詞化した構造（a grain (which) they used ___ to make cereal）と、過去の習慣を表す used to との識別力を問う。
- 設問 10 には、progress が不可算名詞であることの知識が要求される。可算・不可算の区別は英語学習の基礎的な項目であり、確認として配置した。

＜解答＞
1. A
2. B
3. D
4. B
5. C
6. B
7. C
8. B
9. C
10. D

4　並べ替え

＜出題意図＞
整序問題を単独の文としてではなく、まとまった英文の空所に埋め込む形式とした。これにより、文法知識だけでなく、前後の文脈から入るべき内容を推定する力を同時に測ることができる。

- 題材は地球温暖化とホッキョクグマという時事的・環境的な話題で，受験生の関心を引きつつ、論理展開（原因→結果）が明快なものを選んだ。
- 問われる文法事項は，形容詞 + enough + to 不定詞（あ），倍数表現 twice as much ... as（い），give + 人 + 物（う）、付帯状況の分詞（え）、depending on + 疑問詞節（お）と分散させ、特定分野に偏らないようにした。
- 解答箇所を 2 か所に限定することで、全体を復元できなくとも部分点的に得点でき、識別力を保ちながら難度を調整している。

＜解答＞
[あ] (1) B (2) C
[い] (1) C (2) B
[う] (1) B (2) D
[え] (1) C (2) B
[お] (1) E (2) C

5　長文読解

＜出題意図＞
身近な題材（学校内の閉鎖的な友人グループ）を扱った評論的エッセイを用い，事実の読み取りから，論旨の把握，日本語による説明までを段階的に測る．

- 題材の選定：受験生自身の学校生活に直結する話題であり、背景知識の有無による有利・不利が生じにくい。同時に、筆者の体験談から社会的な提言（speed friending）へと展開する構成をもち、論理の流れを追う力を測るのに適している。
- 設問 1・3 の真偽判定は、「合致しない」と「本文からは判断できない」を区別せず F とする方式を採用した。これにより、本文に書かれていないことを推測で補う解答を排除し、本文に即して読む姿勢を評価できる。
- 設問 2（more）と設問 5・6（指示語）は、文脈依存的な表現の解釈を問う。特に設問 6 の they と one は、直前の文との対応関係を正確に押さえる必要がある。
- 設問 4 の文挿入は、段落内の論理の切れ目を見抜く力を測る。「群れの中にいながら孤独でいられるのか」という問いは、直前の「一匹オオカミたちも群れをなす」という逆説を受けるため、位置が一意に定まる。
- 設問 5・6 の日本語記述は、英文の理解を自分の言葉で再構成して説明する力を測る。選択式では測れない産出面の学力を評価する本試験の中心的な設問である。

＜解答・解答例＞

1.
(1) T
(2) F
(3) F
(4) T
(5) F

2. A

3.
(1) T
(2) F
(3) T
(4) F
(5) T

4. D

5.
① 解答例：
学校内で孤立した生徒が銃乱射事件の加害者となるような暴力事件が、珍しくない状況のこと。
② 解答例：
暴力事件が日常化しているような状況においてのみならず、生徒間の多様な絆を育むことは，孤立を防ぐのに良い考えであるということ。

6.
① they：（自分より下の学年に働きかける）生徒
one：メンター（相談相手・指導者）

② 下の学年に働きかけることで，その生徒を導くメンターの役割を担うという経験が得られること

令和８年度　医学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
歯学部（学校推薦型選抜入学試験・編入学試験・卒業生推薦入学試験）
薬学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
保健医療学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
基礎学力試験問題　数学　出題意図および解答

アドミッション・ポリシーに則り、医療を学ぶ上で必要な論理的思考力について総合的に評価します。各問については以下に示す内容を中心として、関連する幅広い知識を活用して解答することを想定しています。なお、正答については下記解答例の表記に限るものではありません。

1

＜出題意図＞

（１）　多項式の展開を通じて，基本的な数式の運用能力を問うています。
（解答）$x^6y^6+2x^3y^3+1$

（２）　多項式の因数分解を通じて，基本的な数式の運用能力を問うています。
（解答）$(xy-1)(x+y-z)$

（３）　グラフの平行移動，対称移動などが数式にどのように反映されるのかなど，数式とグラフの関係の理解を問うています。
（解答）$a=-2, b=20, c=-48$

（４）　絶対値を含んだ方程式の解法を通じて，絶対値の理解について問うています。
（解答）$x=-1-\sqrt{5}, 1-\sqrt{5}$

（５）　２次不等式を題材に条件下における値の範囲について論理的な思考力を問うています。
（解答）$-2<a<3$

（６）　２次方程式を題材に条件に基づく論理的な思考力を問うています。
（解答）$k=-5$

2

＜出題意図および解答＞

多項式の運用および２次関数のグラフについての基本的な理解を問うています。

（１）（i）$y=t^2+4t+3$

（２）最大値 $15\ (x=2)$，最小値 $\frac{33}{16}\ \left(x=\frac{1}{2}\right)$

3

＜出題意図および解答＞

三角形を題材に平面図形の基本的な性質についての理解を問うています。

（１）$1+\sqrt{2}$

（２）$\frac{\sqrt{3}}{2}(1+\sqrt{2})$

（３）$\frac{\sqrt{15}}{3}$

4

２次方程式を題材に条件下における値の範囲について論理的な思考力を問うています。

（１）$\sqrt{3} < k < \frac{7}{4}$

（２）$-\sqrt{3} < k < \sqrt{3}$

令和八年度　医学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
歯学部（学校推薦型選抜入学試験・編入学試験・卒業生推薦入学試験）
薬学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
保健医療学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）

基礎学力試験問題　国語　出題意図および解答・解答例

一

【出題意図】

学習という行為とその個々の行為がもつ意義と特性、および問題点に関する論説文を読み解く問題をとおして、読解力および語彙力など総合的な国語力がそなわっているかどうかを問う。

【解答・解答例】

問1　×
問2　D
問3　×
問4　C
問5　A
問6　その把握に多くの労力を必要とする［17文字］（文章のこと。）
大きな負担感を与えてしまうような［17文字］（文章のこと。）
一読しただけでは読み取ることができない［19文字］（文章のこと。）
問7　B
問8　全力で怠けようとする［10文字］（特性）
問9　○
問10　D
問11　A

二～七

（出題意図）

漢字の読み書きや類義語・対義語、慣用表現などの出題をとおして、基本的な語彙力がそなわっているかどうかを問う。

（解答）

二

問１　さんいつ
問２　ようしょう
問３　こ

三

問１　○
問２　×
問３　×

四

問１　生涯
問２　渉外
問３　傷害

五

問１　E
問２　D
問３　J
問４　B
問５　H

B
B
A
B
A

※付記　両方できて得点

問3　C

問2　A

問1　D

七

問3　A

問2　B

問1　D

六

令和８年度　医学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
歯学部（学校推薦型選抜入学試験・編入学試験・卒業生推薦入学試験）
保健医療学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
基礎学力試験問題　理科・物理　出題意図および解答・解答例

1

＜出題意図＞

等速運動、および等加速度運動の理解を問う。

＜解答＞

（１）$v_0^2 \sin^2\theta/(2g)$ 〔m〕

（２）$2v_0 \sin\theta/g$ 〔s〕

2

＜出題意図＞

等加速度運動の理解を問う

＜解答＞

（１）1.0 秒後

（２）A：-9.8 m/s、B：+4.9 m/s

（３）15 m

3

＜出題意図＞

摩擦、仕事、および仕事率の理解を問う

＜解答＞

（１）P_1：4.9 W、W：49 J

（２）3.5 W

4

＜出題意図＞

位置エネルギーと熱、およびエネルギー変換についての理解を問う

＜解答＞

（１）5.9×10^2 J

（２）3.9 K

5

＜出題意図＞

音波と気柱の取り扱いについて問う

＜解答＞

（1）3.4×10^{2} m/s

（2）3.0×10^{2} Hz

（3）1.0×10^{3} m/s

6

＜出題意図＞

抵抗を用いた回路についての理解を問う

＜解答＞

（1）4.0 Ω

（2）5.0 Ω

（3）1.5 A

（4）1.0 A

7

＜出題意図＞

放射線についての知識を問う

＜解答例＞

1秒間に1個の割合で原子核が崩壊する現象を意味する。

令和８年度 医学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
歯学部（学校推薦型選抜入学試験・編入学試験・卒業生推薦入学試験）
保健医療学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
基礎学力試験問題　理科・生物　出題意図および解答・解答例

1

＜出題意図＞

原核細胞と真核細胞の構造的・機能的な違いを理解しているかを評価するとともに，それぞれの細胞がもつ特徴に関する基礎知識を問うことを意図した。また，生物が生命活動を維持するために不可欠なエネルギー代謝について，その基本的な仕組みを理解しているかを問うことを意図した。

＜解答・解答例＞

問１　（ア） 原核　（イ） 真核　（ウ） 二酸化炭素　（エ） 同化　（オ） 酸素
　　（カ） アデノシン三リン酸

問２　B

問３　（ア） B, C, F　（イ） A, D, E

問４　B, C, D

2

＜出題意図＞

細胞分裂の各段階における特徴を理解しているかを評価するとともに，細胞周期に関する基礎的知識を問うことを意図した。

＜解答・解答例＞

問１　A

問２　（１回複製後） A　（２回複製後） D

問３　（ア） G_1 期　（イ） S 期　（ウ） G_2 期　（エ） M 期

問４　（分裂期） M 期　（間期） G_1 期, S 期, G_2 期

問５　B→A→D→C

問６　15（%）, 216（分）

3

＜出題意図＞

恒常性を維持する上で重要な内分泌系の概念や基本的な仕組みを理解しているかを問うものである。

＜解答・解答例＞

問１　（ア）内分泌腺　　（イ）受容体　（ウ）チロキシン　（エ）視床下部

　　（オ）甲状腺刺激ホルモン放出　（カ）脳下垂体　（キ）甲状腺刺激

問２　標的

問３　負のフィードバック

問４　細胞の代謝は，過剰に促進される。

4

＜出題意図＞

生態系について，教科書で学ぶ基本的な知識，特に，生態系における食べる食べられる関係についてどれだけ理解をしているか問うことを意図した。

＜解答・解答例＞

問１　（ア）食物連鎖　（イ）食物網　（ウ）生産者　（エ）消費者　（オ）一次

問２　（１）作用　（２）環境形成作用

問３　キーストーン種

問４　C

令和８年度　医学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
歯学部（学校推薦型選抜入学試験・編入学試験・卒業生推薦入学試験）
保健医療学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
基礎学力試験問題　理科・化学　出題意図および解答

1

＜出題意図＞

本問は、電子配置と周期表上の元素の性質を関連づけて理解しているかを確認することを目的としている。各原子の電子配置から、金属元素・非金属元素を区別できるか、価電子や不対電子の数を正しく数えられるかを評価する。また、電子配置にもとづいてイオン化エネルギーや電気陰性度の周期的変化（周期表での左右・上下の傾向）を説明できるかを問う。これにより、原子の構造をもとに化学的性質の違いを論理的に判断する力を確認する。

＜解答＞

(1) エ　(2) 0　(3) 3　(4) ウ　(5) イ

2

＜出題意図＞

本問は、身近な現象を題材にして物質の状態変化（凝固・融解・蒸発・昇華・凝縮）への理解を確認することを目的としている。日常的に観察できる水滴・霜・洗濯物の乾燥などの現象を、状態変化の用語と正しく結び付けられるかを評価する。単なる語句暗記ではなく、気体・液体・固体の状態変化とその条件（温度・湿度など）の関係を具体的な例から判断できる力を問う。

＜解答＞

(1) d　(2) c　(3) a　(4) f　(5) e

3

＜出題意図＞

本問は、分子の共有電子対・非共有電子対の数と立体構造の関係を理解しているかを確認することを目的としている。アンモニア・水・二酸化炭素といった基本的な分子を例に、電子の配置から分子の形（直線形・折れ線形・三角錐形・正四面体形など）を判断できるかを評価する。また、電子対反発の考え方にもとづいて、分子が示す極性や性質の違いを説明できるかを問う。さらに、表の情報を利用して、特定の性質（無極性分子）に分類できるかどうかを判断する力も確認する。

＜解答＞

(1)（ア）3　（イ）4　（ウ）2　（エ）4

(2)（オ）e　（カ）d　（キ）a

(3) CO_2

4

＜出題意図＞

本問は、水溶液の濃度計算（モル濃度・質量パーセント濃度）を確実に扱えるかを確認することを目的としている。(1)では、濃度の異なる硫酸水溶液を混合したとき、物質量保存の考え方から最終的なモル濃度を求める力を評価する。(2)では、五水和物と無水塩の式量の違いに着目し、所定の質量パーセント濃度の硫酸銅(II)水溶液を調製するために必要な五水和物の質量を計算させることで、水和物と溶質の質量の関係を理解しているかを問う。

＜解答＞

(1) 0.16〔mol/L〕 (2) 4.07（4.06も正解とする）〔g〕

5

＜出題意図＞

本問は、酸塩基滴定による濃度決定の流れを理解しているかを確認することを目的としている。濃度不明の酢酸水溶液を量り取り、メスフラスコやホールピペットなどの適切な器具を用いて正確に希釈する操作を通して、体積と濃度の関係を式に表せるかを評価する。また、指示薬を用いた中和滴定の結果から、滴下した水酸化ナトリウム水溶液の物質量を求め、それをもとに元の酢酸水溶液のモル濃度を計算する一連の手順が身についているかを問う。分析化学の基本操作と計算を総合的に扱う力を確認する問題である。

＜解答＞

(1) ア，f　　イ，e　　ウ，c　　エ，a

(2) フェノールフタレイン　　(3) 0.450 〔mol/L〕

6

＜出題意図＞

本問は、酸化還元反応の考え方を具体的な例を通して理解しているかを確認することを目的としている。反応前後でマンガン原子の酸化数がどのように変化するかを判断し、その変化をもとに電子の授受に着目して係数を決める力を評価する。また、同じ過マンガン酸イオンでも、酸性・塩基性といった反応条件の違いによって生成物が変化し、酸化剤として働く相手（過酸化水素やヨウ化物イオン）が異なることを理解しているかを問う。これにより、高校化学で学ぶ酸化還元反応の基本原理を、実際の反応式の作成と結び付けて運用できるかどうかを確かめる。

＜解答＞

(1) ア，2　　イ，5　　ウ，2　　エ，5 （＊完答必須）

(2) a，+7　　b，−1　　c，+2　　d，0

(3) $H_2O_2 + 2KI + H_2SO_4 \rightarrow 2H_2O + I_2 + K_2SO_4$（$H_2O_2 + 3KI + H_2SO_4 \rightarrow KI_3 + 2H_2O + K_2SO_4$も可）

令和８年度　薬学部（学校推薦型選抜入学試験・卒業生推薦入学試験）
基礎学力試験問題　理科・化学　出題意図および解答

1

＜出題意図＞

本問は、電子配置と周期表上の元素の性質を関連づけて理解しているかを確認することを目的としている。各原子の電子配置から、金属元素・非金属元素を区別できるか、価電子や不対電子の数を正しく数えられるかを評価する。また、電子配置にもとづいてイオン化エネルギーや電気陰性度の周期的変化（周期表での左右・上下の傾向）を説明できるかを問う。これにより、原子の構造をもとに化学的性質の違いを論理的に判断する力を確認する。

＜解答＞

(1) エ　(2) 0　(3) 3　(4) ウ　(5) イ

2

＜出題意図＞

本問は、身近な現象を題材にして物質の状態変化（凝固・融解・蒸発・昇華・凝縮）への理解を確認することを目的としている。日常的に観察できる水滴・霜・洗濯物の乾燥などの現象を、状態変化の用語と正しく結び付けられるかを評価する。単なる語句暗記ではなく、気体・液体・固体の状態変化とその条件（温度・湿度など）の関係を具体的な例から判断できる力を問う。

＜解答＞

(1) d　(2) c　(3) a　(4) f　(5) e

3

＜出題意図＞

本問は、酸塩基滴定による濃度決定の流れを理解しているかを確認することを目的としている。濃度不明の酢酸水溶液を量り取り、メスフラスコやホールピペットなどの適切な器具を用いて正確に希釈する操作を通して、体積と濃度の関係を式に表せるかを評価する。また、指示薬を用いた中和滴定の結果から、滴下した水酸化ナトリウム水溶液の物質量を求め、それをもとに元の酢酸水溶液のモル濃度を計算する一連の手順が身についているかを問う。分析化学の基本操作と計算を総合的に扱う力を確認する問題である。

＜解答＞

(1) ア，f　イ，e　ウ，c　エ，a

(2) フェノールフタレイン　(3) 0.450 〔mol/L〕　(4) 2.70 〔%〕

4

＜出題意図＞

本問は、酸化還元反応の考え方を具体的な例を通して理解しているかを確認することを目的としている。反応前後でマンガン原子の酸化数がどのように変化するかを判断し、その変化をもとに電子の授受に着目して係数を決める力を評価する。また、同じ過マンガン酸イオンでも、酸性・塩基性といった反応条件の違いによって生成物が変化し、酸化剤として働く相手（過酸化水素やヨウ化物イオン）が異なることを理解しているかを問う。これにより、高校化学で学ぶ酸化還元反応の基本原理を、実際の反応式の作成と結び付けて運用できるかどうかを確かめる。

＜解答＞

(1) ア，2　　イ，5　　ウ，2　　エ，5　（＊完答必須）

(2) a，+7　　b，−1　　c，+2　　d，0

(3) $H_2O_2 + 2KI + H_2SO_4 \rightarrow 2H_2O + I_2 + K_2SO_4$（$H_2O_2 + 3KI + H_2SO_4 \rightarrow KI_3 + 2H_2O + K_2SO_4$も可）

5

＜出題意図＞

本問は、酸塩基についての理解を確認することを目的としている。炭酸水素ナトリウム水溶液が弱塩基性を示す理由を、炭酸水素イオンの電離と中和反応の観点から説明できるかを評価するとともに、工業的製法であるアンモニアソーダ法（ソルベー法）の反応式を通して、塩の加水分解・中和・熱分解といった基本反応を整理させる。さらに、与えられた質量・物質量の関係から炭酸ナトリウムの生成量を計算させることで、化学反応式と化学量論計算を結び付けて扱う力を問う問題である。

＜解答＞

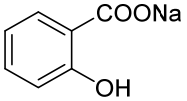
(1) b　　(2) 風解　　(3) イ，2　　ウ，1　　エ，1　　(4) 636 〔g〕

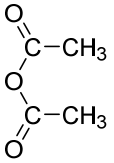
6

＜出題意図＞

本問は、芳香族化合物の一連の合成反応を題材として、反応経路の理解と収率計算を結び付けて考える力を確かめることを目的としている。ベンゼンのスルホン化、アルカリ融解によるフェノール骨格の導入、さらに二酸化炭素との反応によるサリチル酸の生成とエステル化によるアセチルサリチル酸の合成という流れを通して、それぞれの反応の意味と官能基の変化を把握できているかを評価する。また、出発物質の物質量から理論生成量を求め、実際の収率が与えられたときに目的物質の質量を計算するなど、実験結果の扱いに必須となる収率計算を正しく行えるかを問う。

＜解答＞

(1) 

(2) 

(3) 144 〔g〕

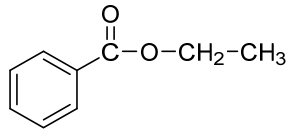
7

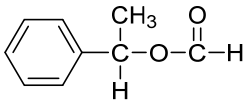
＜出題意図＞

燃焼生成物の質量から炭素・水素の質量を求め、分子量の上限条件とあわせて分子式を決定することで、組成式計算の基本が身についているかを評価する。さらに、エステル結合をもつ一置換ベンゼンが加水分解して得られるアルコールとカルボン酸の情報（トルエンの酸化生成物と同じカルボン酸）を手掛かりに、芳香族カルボン酸エステルの構造を特定する力を問う。加えて、同じ分子式をもつ構造異性体の存在や、不斉炭素原子をもつ化合物を挙げさせることで、官能基の位置関係・立体配置まで含めた構造異性の理解を測定する問題である。

＜解答＞

(1) 炭素原子：5.40 〔mg〕，　水素原子：0.500 〔mg〕　(2) $C_9H_{10}O_2$

(3) 

(4) 

8

＜出題意図＞

本問は、アミノ酸・ペプチド・タンパク質の構造と性質を体系的に理解しているかを確認することを目的としている。アミノ酸の一般構造と側鎖の性質（酸性・塩基性・芳香族性など）を識別し、ペプチド結合を通じてアミノ酸が連なることで生じる一次構造、さらに水素結合や疎水性相互作用によって形成される二次構造など、タンパク質の立体構造に関する基礎概念を評価する。また、タンパク質の比色定量法であるビウレット反応を扱い、反応原理と呈色を関連づけて説明できるかを問う。さらに、アミノ酸水溶液の滴定曲線や中和計算を通じて、アミノ酸の酸塩基特性と物質量計算を結びつけて処理できるかを確認する。

＜解答＞

(1) ア，グリシン　　イ，鏡像異性体（光学異性体）　　ウ，ジペプチド　　エ，水素
　　オ，基質特異

(2) フェニルアラニン，チロシン，トリプトファンの中から 2 つ

(3) システイン

(4) 5.6×10^{-2}　〔g〕